

# 奉仕を通じて平和を Peace through Service

1963年3月23日創立 週報2412号

## 第2730地区 鹿児島西ロータリー・クラブ



第 2459 回例会

6 月はロータリー親睦活動月間

平成25年6月19日

● 例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館7階 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30  
● 事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館9階 ☎ 223-5902・FAX 223-7507

会 長 染川 周 郎  
幹 事 川 畑 宏 二  
会報委員長 上 村 國 博

本日の主要  
プログラム

### クラブ協議会（活動報告）

- (1) ロータリーソング（手に手つないで）
- (2) 会長あいさつ
- (3) ゲスト・ビジター紹介
- (4) 会 務 報 告
- (5) 出 席 報 告
- (6) ニコニコBOX披露

#### 会長挨拶 染川周郎 私の原風景

人は、誰でもある程度の年齢に至った時に最も古く印象に残っている風景があるといわれています。戦時中に幼少期を過ごした方にとっては爆撃され荒涼とした焼け跡であったり、田園で育った人には、風に揺れる稲穂の美しい波紋であったり、或いは旅先で出会った景色、風景であることもあるといわれています。多くは郷愁を呼ぶ風景であり、懐かしさの感情や愛着を感じる人が多いとされています。

この言葉は、文芸評論家の奥野健男氏がそれまでにありました「原体験」というやや論理性に傾いた概念で包摂しきれないものとして打ち出したものですが、中々の確かな心象概念として共感できるものです。

遠い昔のことですが、私は、大学在学中に裁判官を目指して勉学に励み22歳で司法試験に合格し、司法修習生を経て24歳で判事補に任官しました。ところが、30歳を目前にした頃、B型肝炎を発症し、止む無く裁判所を退職して鹿児島に帰りました。そして1年間の入院生活とそれから約10年間続く闘病生活を経験しました。入院生活が始まりまして半年くらい経過しました頃でしたが、検査結果は全く改善せず、退院の見通しも立たない状況が続き心も少しばかり荒んでいたような気がします。その当時は「エイズより怖いB型肝炎」などといわれ、確たる治療法も無く、このまま病院で廃人同様の人生になるのかといった悲観的な気持ちに陥ったりしていた頃でした。

寒い日でした。ふと病室の窓から外を見ますと、見舞い帰りの家内が3歳の長男の手を引いて、1歳にもならない次男を背中におんぶして、ねんねこ半纏を羽織って、もう一方の手に私の洗濯物と弁当の

空箱の入った紙袋を提げてとぼとぼと坂道を降りて帰っていく様子が見えました。私の原風景は、この時のこの風景だと思っています。

その後も難儀なことや困難にあったことも無かったわけではありませんが、この時のことに比べれば何ということもありませんでした。

病気の方はといいますと、生活費捻出その他の都合で入院生活は1年で切り上げて、通院しながら仕事に半ば復帰しました。退院時に、主治医から「あなたは、肝硬変そして肝がん行きの新幹線に乗っているようなものだからくれぐれも無理をしないように。アルコールは勿論絶対駄目、散歩以外のスポーツは厳禁ですよ」と宣告されました。

私共の年代は幼児期の予防接種の際、同じ注射針で何人にも回しうちをする時代でした。今、全国的にB型肝炎予防接種禍訴訟が提起されていることは皆様ご存知のことかと思えます。私の判事補任官同期生は78名でしたが、私の後にB型肝炎を発症した2人は残念ながら忽ち、肝癌にいたって亡くなってしまいました。私は、幸いにして、特に何か効を奏したというわけではありませんが、38~9歳頃から検査結果が画期的によくになり、ウイルスに対する抗体が出来、健康を取り戻すことが出来ました。

余り人様に言ったことはありませんが、私の心の片隅に、私の命、健康は何者かに与えていただいた、救っていただいた命だという気持ちがあります。そしてあの原風景を思い起こしますとこうして毎日健康で過ごせるだけでも感謝しなければいけない、一日一日を大事にしないと申し訳ないと思って毎日過ごしています。

#### ◇前回の例会(6月12日)の報告

会 員 数	79 (73) 名
出 席 数	42 名
出 席 率	57.53 %

#### ◇前々回の例会(5月29日)の訂正

出 席 率	56.94 %
訂 正 出 席 数	64 名
訂 正 出 席 率	88.89 %



## チャイナ+ASEANとTICAD

弓場貿易株式会社  
代表取締役 弓場 秋信様

本日のタイトルを聞かれた瞬間、皆さんは何を感じ、何を思われたでしょうか？

私がこのテーマを選んだのは、ASEAN(東南アジア諸国連合)とTICAD(アフリカ会議)の共通性を見つけたからです。それは両地域の「今」と日本人が抱えている認識(固定観念)とのギャップの大きさです。大きなポテンシャルを持つASEANとアフリカの「今」について述べます。

ASEANは、1967年反共主義5カ国で発足以来、84年にブルネイ、90年代ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジアの4カ国が順次加盟し、10カ国約6億人を有する地域連合体として政治・経済で域内外への影響力を増している。現在注目度の大きいタイ、インドネシアについてコメントします。

タイは、洪水の被害から完全に復興し自動車生産と農水産物を中心に活況を呈しています。街は新車で溢れ、失業率0.5%をミャンマーやカンボジアからの出稼ぎ労働者で補っている。また日本企業も8千社を数え、長期滞在日本人は5万人に上っている。また2億4千万の人口を有するASEANの盟主インドネシアが、自動車生産年間100万台を超えるなど後進国からの離陸を始め、中間層(年間可処分所得50-350万円)が拡大している。

一方、国連加盟国54カ国、人口10億人のアフリカは、サハラ砂漠を境に文化・経済・社会が異なっている。灼熱の砂漠地帯だけではない。人類誕生の地と言われる大地溝帯、熱帯雨林が広がる中部アフリカ。大虐殺の悲劇から20年余りでアフリカのシンガポールと呼ばれる発展を遂げたルワンダ。TICAD5でアフリカの現状と将来性を知る機会になったのではないだろうか。

### 前回の例会記録 (6月12日分)

〈プログラム〉

「ASEANとTICAD」

弓場貿易株式会社 代表取締役 弓場 秋信様

〈ビジター〉なし

### 市内RC例会プログラム

東RC	6月20日(木)	クラブ協議会	山形屋
北RC	6月20日(木)	チャーターナイト記念 例会のため18:30~に変更	レプラント 鹿児島
サウスイースト RC	6月20日(木)	クラブ協議会 (活動報告)	東急イン
鹿RC	6月21日(金)	次年度に向けての クラブフォーラム	山形屋

〈会務報告〉

1. 本日は百万ドル食事にご協力いただきありがとうございます。
2. 例会終了後、定例理事会を開きます。
3. 理事会報告
  - (1) 奨学生  
鶴丸高校、鹿児島高校より推薦された各3名の奨学生に対し、西クラブ奨学制度要綱に基づいて奨学金を給付することを決定した。
  - (2) 退会届 (1人受理)



染川 周郎君、川畑 宏二君

弓場様、鹿児島西RCへようこそ！本日はお忙しい中、卓話をお引き受けくださり、感謝致します。

鮫島 信一君

この度、小児科医として最高の栄誉である内藤寿七郎記念賞を受賞しました。小児科医を志して53年経過しましたが、嬉しさ一杯でニコニコしています。

小計 4,000円 累計 437,000円

### 懐かしの流行り歌 女のみち

私がささげた その人に  
あなただけよと すがって泣いた  
うぶな私が いけないの  
二度としないわ 恋なんか  
これが女の みちならば

昭和47年(歌) ピンカラトリオ



次週予告

6月26日(水) 12:30~ 山形屋  
クラブ協議会 (委員会活動報告)